

＜ティンボア PCO=防腐・防蟻効果+消臭・カビ取り強化剤＞

調製使用説明書

ティンボア PCO の基本的な防腐・防蟻効力に、**消臭・カビ取り強化剤**を投入することにより、次亜塩素酸の消臭、殺菌、カビ防除機能が付加されます。ティンボア PCO の八ホウ酸二ナトリウムは、木材をシロアリや腐朽菌から保護し、水溶液の pH を中性に保ちます。中性環境では特に次亜塩素酸の活性度は非常に高くなり、微量でもカビや雑菌を速やかに殺菌し、臭いを分解します。次亜塩素酸は、プールの消毒や食品保存などに使われる安全な薬品です。ホウ酸ナトリウムは目薬、化粧品などに使用される安全な天然の鉱物です。

調整方法（18%DOT 水溶液 25 リットル調整の場合）

1. ティンボア PCO 水溶液は使用説明書に従って 25L(リットル)を調製します。
(水溶液調合の際、湯温は少なくとも 40℃以上、速く溶解するには 50-60℃で攪拌して下さい)
2. 水溶液の温度が低下後(35℃以下)、同梱されている(SDIC=ジクロロイソシアヌル酸ペレット)2錠 (3g/錠 x2)を投入します。ペレットは、泡を立てながら数分で溶解しますが、軽にかき混ぜてください。(消臭・カビ取り効果を強化する次亜塩素酸が生成されます)

使用方法

- ティンボア PCO (+消臭・カビ取り強化剤)は使用条件に従えば安全な薬剤ですが、気道、目、皮膚に刺激性があります。処理作業中はマスクの着用、換気の確保、高い壁面の散布時は処理液が降下しますので、ゴーグル等保護眼鏡、ゴム・塩ビ等の不浸透性手袋を着用してください。
- 湿気の高い床下や屋根裏などの風通しの悪い場所にカビが発生する場合は、動力噴霧器などですべての木部を処理してください。**消臭、カビ駆除・予防、防腐・防蟻効果が1回の処理で可能です。**
- 浸水家屋では、床下、壁の内部、フローリング、畳下地板などを念入りに処理してください。
ティンボア PCO (+消臭・カビ取り強化剤)は、木材、石膏ボード、塗り壁、壁紙、衣服、革製品など処理液を吸収可能な材料に塗布または散布し、処理液が滴下直前に止めます。
- 大切な品物を処理する場合は、目立たない小さい場所を選んで試験的に処理し、表面の変色や素材劣化が発生しないことを確認して下さい。**次亜塩素酸は漂白効果があるため着色剤と併用はできません。**
- 処理範囲が DOT 水溶液 5 リットルで十分な場合は、2/5 錠に小分けするか、1 錠をそのまま投入して下さい。
- 消臭・カビ防除効果は、処理液調製後 1 ヶ月でかなり低下します。**早めに使い切ってください。**

注意事項

- プラスチック、タイルなど水を吸収しない材質に処理液が付着すると、ホウ酸ナトリウムが表面に白く析出します。水で流すか、濡れたタオルなどで拭きとってください。
- **ガラス・鏡・陶器**に噴霧液が付着したら、濡れタオルなどで丁寧に拭き取って下さい。ホウ酸成分が残留し放置すると硬質化し除去できなくなりますのでご注意下さい。
- 庭木、観葉植物に処理液を散布すると枯れます。誤散布の場合は、すぐ洗い流してください。
- 処理に使用した噴霧器や刷毛は、水でよく洗って保管して下さい。またノズルは粒子で詰まることがありますのでしっかり洗浄してください。

安全管理:ティンボア PCO (+ 消臭・カビ取り強化剤) 処理液は、お子様の手の届かない場所に厳重に保管して下さい。

同梱のジクロロイソシアヌル酸ナトリウム錠剤は市販されている風呂水清浄剤です。未使用の錠剤は風呂使用後の水(160-200L)に投与すれば翌日衛生的に再利用可能です。**ご使用方法や安全管理の詳細は以下参照ください。**

安全データシート(SDS) <http://saibu-n.co.jp/catalogue/yokujuo-sds> (商品名:花王バスター)

国際化学物質安全性カード <http://www.nihs.go.jp/ICSC/icssj-c/icss0437c.html>

販売元 : マイダス・ライフテック有限会社

監 修 : ホウ素系木材保存剤普及協会

● 同梱商品

商品名 : 風呂水ワンダー
メーカー : 花王株式会社
錠剤 : 3g×2錠



※ジクロロイソシアヌル酸塩の錠剤は、「ふろ水清浄剤(ライオンケミカル)」など他社の商品もありますが、使用する前に少量でテストしてから使用してください。

※ティンボア PCO に加える「消臭・カビ取り強化剤」は、2015 年 9 月からご希望の方に無料配布していましたが、出荷に支障が生じたため、2017 年5月に配布を中止し使用方法などの説明書のみ提供しております。